令和8年度 第１回 香南市自転車活用推進計画策定委員会【議事録】

日 時 ： 令和8年６月24日（水） 14:00 ～ 15:30
場 所 ： 香南市役所本庁 6F 604～605 会議室
出席者： 16名（策定委員 12名・事務局4名）
委員：大﨑委員長、榮枝副委員長、岸野委員、宇賀委員、前田委員、永野委員、
小松委員、岡本委員、横瀬委員、久家委員、中元委員、小笠原委員
事務局：商工観光課 山﨑課長補佐、中屋課長補佐、豊永主査、岩神主査

1.開催目的

令和７年度の総括及び令和８年度の事業計画について事務局より説明し、各取組・事業の進捗管理を行う。また、有識者や関係団体の代表者と分野を超えた横断的な議論を交わす。

2.議 題

① 令和7年度の取り組みについて（総括）
② 令和8年度及び今後の取組について

◆ 開 会

(事務局)
令和8年度第１回香南市自転車活用推進計画策定委員会を開催します。
本日はご多用のところ、本委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。
なお、本日の会は、香南市自転車活用推進計画策定委員会設置条例第 6 条の規定に基づき、過半数の方にご出席いただいていますので、成立していますことをご報告いたします。
次に本日の流れについてですが、本日の会では、大きく２つの議事を予定しております。
まず１つ目は「自転車活用推進計画の令和７年度の取り組みの総括について」ということで令和７年度の取組内容について委員の皆様よりご協議をお願いしたいと思います。
２つ目は、「令和 8 年度及び今後の取り組みについて」ということで、今年度以降の取組の整理や、新たなサイクルイベント開催などに向けて、ご協議をお願いしたいと思います。
それでは、ここからの進行につきましては、
委員長にお渡しをさせていただきたいと思います。
委員長よろしくお願いいたします。

(委員長)
それでは、議題に沿って進めていきたいと思います。
ここからは、「①香南市自転車活用推進計画の令和７年度取り組み」について、事務局よりご説明をお願いいたします。

（事務局）
それでは、A4縦の資料 1「香南市自転車を活用した街づくり計画」をご覧ください。この資料は昨年度策定委員会で承認いただきましたフェーズ 1.5 の計画にR7 年度の実績を入力したものに

なります。計画の内容については昨年度の策定員会で説明させていただきました内容から変更がありませんので、R7年度の実績についてのみ説明させていただきます。まず巻末資料１の 20 ページを開いていただきますと、昨年度の自転車活用推進計画の取組みごとに、達成率に応じて A～C の3段階評価としております。説明につきましては、時間の関係上全項目の説明は行わず、各分野からピックアップしご説明をさせていただきます。

まず始めに、健康分野の「健康サイクリング等の開催」ですが、目標値 60 人の開催に対し実績値は 27 人で C 評価となっております。令和 7 年度の健康サイクリングの内容につきましては、第１回では夜須町にあるサイクリングターミナルから井上ワイナリーまでのサイクリングを企画しました。第 2 回では青切符制度の導入に合わせて東部自動車学校の施設内で講習会を行った後香我美町のタナカフェまでのサイクリングを企画し、第 3 回目ではサイクリングターミナルから夜須町内をサイクリングした後、ヤ・シイパークでスノードームを作成するイベントを企画しました。すべてのイベントにおいて親子で参加しやすいイベントを意識して企画しています。第 2 回の健康サイクリングでは講習会という面が強く出てしまい参加申し込みがなく中止となりましたが、そのほかのイベントでは過去の健康サイクリングの参加者数と比べても上位の参加者数がありました。イベントの内容や参加者のアンケートを A4 縦の参考資料１「令和 7 年度サイクルイベント詳細」をご覧ください。
続きまして、「タンデム自転車の利用促進」ですが、今年度はタンデム自転車の講習会ではなく障がいのある方でも楽しめるアクティビティを体験するイベントの開催を目指しましたが、市では障がいのある方を受け入れる体制が取れていないことから断念し、代わりに障がいのある方向けの自転車講習会を開催し 8 名の方が参加されました。

続きまして、観光分野の「レンタサイクル推進事業」についてですが、3,460 台の目標値に対し、実績値は 1,607 台、C 評価となっています。今年度はレンタサイクル 1 台につき 500 円クーポンがもらえる、「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」を実施しませんでしたが、前年度に比べ微減となったことからも香南市のレンタサイクルは地元の方や近隣市町村の方に浸透し一定の利用者数は確保できていると考えます。利用者が減少している要因としては、資料に、外気温の変化についてまとめていますが、外気の上昇率が高く、日照率については例年より変化が少なかったため、やはり外気温の影響が大きいと思われます。

続きまして、「サイクルイベントの開催」についてですが、目標値 750 人に対して 424 人で C 評価となっています。前年度では高規格道路開通イベントがあり 479 人の参加者がありましたが、今年度はそのイベントの開催はありませんでした。しかし、「ものべすと周遊ライド」を開催し前年度と比べ微減となりました。

「サイクルサポーター制度の推進」についてですが、目標値 5 名に対し 0 名となっており C 評価となっています。増加できなかった要因としましては、昨年度はレンタサイクル事業で実施した「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」での事業者参加要件にサイクルサポーター制度への加入を加え認定事業者の増加につながりましたが、今年度は「香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン」を実施しなかったことと広報不足が原因だと考えます。

続いて、教育分野「ヘルメット着用率の向上」についてですが、目標値100件に対し、実績値 53

件、C 評価となっております。商工観光課でも健康サイクリングや障がいのある方向けの自転車講習会でチラシを配るなどの取組みを実施していますが申請数の増加にはつながっていません。

続きまして、環境分野「一般道路の整備」についてですが、目標値 3 件に対し実績値 0 件、C 評価となっております。これは、関係課と道路整備についての協議が進んでいないことが原因でありフェーズ 1.5 で重点的に取り組んでいきます。

主な取り組みの説明は以上になります。令和 7 年度の取組みの実測値の一覧は 3 ページの A3 用紙に記載しております。また、昨年度募集しましたフェーズ 1.5 の計画に対するパブリックコメントも巻末資料に記載しておりますのでご確認ください。

令和 7 年度の取り組み内容は以上となります。

(委員長)
それでは委員の皆様から先ほど事務局から説明がありました令和7年度の取り組みに関してご質問やご意見等をお願いします。

(委員)
環境分野のブルーラインの目標値について、何を基準としているのでしょうか。例えば、ブルーラインを引く路線を3路線計画し、1路線ブルーラインを引くと実績が1になるのか、または1mでも引いたら実績となるのでしょうか。

(事務局)
事務局の認識といたしましては、1mでもブルーラインを引いた場合、またはピクトグラムを1か所設置した場合は1件という基準にしています。しかし、そのような基準でも実績が0件となっております。自転車ネットワーク計画を整備することで、建設課と協議を行いながら整備箇所などを検討していきたいと考えています。

(委員長)
ご意見ありがとうございます。カウント方法が不明という点についてはご指摘の通りかと思います。ブルーラインにおいては距離、ピクトグラムについては個数など、誰にでもわかりやすいKPIにすることが必要かと思います。
他にご意見はございますでしょうか。

(委員)
タンデム自転車講習会について、障がい者にとってはどうやって会場まで行くのか、ということが課題になるかと思います。広く広報するのも必要かと思いますが、障がい者施設に絞って案内をした方が集客効果があるかと思います。タンデム自転車は障がい者にも体験できると思いますので、重点的な声掛けが必要だと思います。

(事務局)
障がいのある方が利用する施設に重点的にアプローチをかけて、自転車に触れる機会を増やしていけたらと考えています。令和7年度は自転車のシミュレータを用いて、主に知的障がい者に向けた講習会を行いました。シミュレータを使えば、各施設への訪問も可能かと思いますので、臨機応変に、かつ平等に自転車に触れられる機会があればと思います。

(委員長)
ありがとうございます。ぜひこうした方がいい、こういったことをした方がいいのでは、といったご意見をいただけますと実現性のある計画になるかと思いますので、よろしくお願いいたします。
他の皆様から何かご質問、ご意見等ありませんか。なければ令和7年度の報告はここまでにして、8年度の取り組みについて議題を進めます。また、後ほど時間を取りますので、その際に令和7年度の報告についてご指摘等いただいても問題ありませんので、議題を進めます。続いて２つ目の議題、令和8年度および今後の取り組みについて、事務局よりご説明をお願いします。

（事務局）
それでは、資料２「令和８年度及び今後の取組みについて」の資料をご覧ください。
令和８年度では７つのサイクルイベントを計画しております。まず、健康サイクリングでは年間３回のイベント開催を目標としており、今年度は商工観光課のみでの開催ではなく、関係機関と連携しての開催と、働き盛り世代に自転車を体験してもらうため親子で楽しめるイベントを目指し計画しています。

第１回目では YASU 海の駅クラブ様と商工観光課の事業の一つである珊瑚の保全調査を実施していただいている黒潮生物研究所様にご協力いただき、サイクリングターミナルで珊瑚についての講習会を受けたのち、大手の浜までサイクリングで移動しグラスボートで珊瑚の観察を実施するイベントを企画しています。

第２回目では、香南市自転車活用推進計画で部会にもご参加いただいている防災対策課、健康対策課にご協力いただき自転車を通じた避難体験コースとして、自転車での避難タワーまでの走行の体験と非難タワーの見学や避難グッズの体験、災害食調理体験のイベントを企画しています
第３回目では、サイクリングターミナルから商工観光課の担当する指定管理施設である弁天座へサイクリングを実施したのち施設を見学した後、お子様には歌舞伎の演目を練習していただき、その間に保護者の方は絵金蔵を見学していただきます。その後、保護者の方は弁天座に戻りお子様の舞台での発表を見学するイベントを企画しております。

続いて自転車講習会では、今年度は南国警察署 交通課にご協力いただき２つの講習会を開催したいと考えております。

１つ目の講習会が自転車飲酒運転体験で、東部自動車学校の施設内で実際に飲酒し、自転車を運転する事でどれだけ危険かを体験していただく講習になります。この講習は実際に福岡県で開催されており、そのイベントを参考に開催したいと考えております。ただし、高知県内では初めて

のイベントという事もあり、初年度は一般の方向けではなく、自転車に関係する方を招待して開催したいと考えています。ただし、メディア関係者には取材を依頼し、メディアを通して取組みを色々な方にアピールできればと考えています。

２つ目の講習会は昨年度も実施しました「障がいのある方向け自転車講習会」になります。昨年度は、赤岡保健センターを会場に土佐あけぼの会の利用者の方にご参加いただき、自転車シミュレーターを活用した講習会を開催しました。今年度も同様の講習会を開催したいと考えておりますが、こちらの準備した会場に来ていただくのではなく、こちらから施設へ訪問する形での講習会も検討したいと考えております。

その他のサイクルイベントとして２つのイベントを実施予定です。

１つ目がのいち動物公園でのキックバイクレースの開催です。このイベントは昨年度のいち動物公園を訪問した際に企画を説明し、今年度の１～２月を目途に開催を目指し協議しております。まだ、案段階ではありますが詳細が決まりましたら委員の皆様には別途ご案内させていただきます。

２つ目がものべすと周遊ライドです。昨年度同様に今年度も開催に向け現在準備を進めておりますが、今年度は会場にマルシェやキックバイク体験コースなども設置し参加者だけではなく、会場を訪れた方でも楽しめるイベントの開催も検討しております。

サイクルイベントについては以上になります。

続きまして、自転車活用計画の取組みについて説明させていただきます。

策定委員会につきましては、策定委員の皆様の部署異動の有無の確認に合わせてアンケートを実施させていただき、皆様に香南市の自転車活用を推進するにあたりご協力可能なことをお伺いさせていただきました。皆様のご回答を参考に今後ご協力を依頼させていただくと思いますのでよろしくお願いいたします。

次にサイクルサポーターについてですが、現在ご登録いただいている 47 の事業所にアンケートを送付し、どういったご協力が可能かをお伺いしております。そうしましたところサイクルラックを設置可能と回答が 7 件ありましたのでこの事業所には早急に連絡を取りサイクルラックの設置にご協力いただきたいと考えております。また、イベントでの出店にも前向きな事業所や、イベント参加者への記念品や特典へのご協力も可能とご回答いただきました事業所もありました。ご回答いただいた事業所にはものべすと周遊ライドなどでご協力いただければと考えております。また、市の協力があればサイクルイベントを開催したいとご回答いただきました事業所もあり、どういった内容のイベントの開催を希望しているのかをお伺いし、市民主体のサイクルイベントの開催に向けて進めていければと考えております。

レンタサイクルにつきましては年々利用者数が低下しているのが現状です。この状況を打破するべくフェーズ２での取組みをフェーズ 1.5 の間に検討するために市内レンタサイクルを運営する団体の皆様にお集まりいただき会議を開催いたしました。その会議の中で、現状のレンタサイクル利用者の客層や利用目的を収集するためのアンケートの実施を今年度実施する事で決まりました。この会議は定期的に開催し、アンケート結果をもとにフェーズ 2 の取組みを協議できればと考えております。

自転車通行空間の整備につきましては、建設課と昨年度協議を行い、香南市の自転車通行空間の整備マニュアルを策定後、それをもとに自転車ネットワーク計画の路線を選定する予定でしたが、今年度協議したところネットワーク路線を選定した後整備方法を検討する方が好ましいとのことでしたので、今年度は建設課と路線選定の基準を協議した後、データを集めて路線選定までを目標に取り組んでいきたいと考えております。

最後にヘルメット着用率調査ですが午前と午後で１時間ずつ５月から６月の期間で１１の地点で調査を実施しております。調査結果につきましては次ページにまとめていますが、年齢が低い方ほど自転車を利用しており、年齢が上がるにつれてヘルメット着用率が低下する事がわかります。このデータを活用しヘルメット着用率向上に向けた取り組みを考えていきたいと思います。参考資料２にヘルメット着用率調査の各地点の詳細をまとめておりますのでご確認ください。

また、参考資料３としまして今年度の年間スケジュールもまとめておりますのでご確認ください。
事務局からの説明は以上となります。

(委員長)
ご説明ありがとうございました。皆様からも確認したい事もあると思いますので、ご質問やご意見をいただければと思います。

(委員)
サイクルイベントの開催について、フェーズ1.5 での数値の目標はありませんか。

(事務局)
資料1の１１ページにフェーズ1.5 の目標値を一覧で記載しております。令和8年度は香南市全体のサイクルイベントの参加者を450名の目標に設定しています。

（委員長）
フェーズ1.5 の目標値については前年度の策定委員会で設定させていただいていますのでご確認ください。

(委員)
サイクルイベントの避難体験イベントについては、津波発生を想定した避難体験かと思うが、地域防災計画の中での位置づけや関連性はありますか。

(事務局)
防災対策課と協議を行ったところ、避難体験というよりは、避難タワーをより身近に気軽に見学していただきたいという趣旨でイベントを実施したいと考えています。そのため、計画の関連性はありません。

(委員)
このままの内容では、地震の避難に対して、自転車で逃げると思われる方もいるかもしれませんの

で、周知の仕方に気を付けた方がいいかと思います。
また、飲酒体験イベントについて、事故等の発生への対応は大丈夫なのでしょうか。

(事務局)
趣旨といたしましては、飲酒運転の危険性を感じていただくイベントにしたいと考えています。怪我については、プロテクターをつけ、職員の補助が入るようにし、安全に実施できるよう努めます。

(委員)
怪我が発生するおそれがあるのであれば、実施しない方がいいいかと思います。危険性の周知であれば、他の方法でも可能かと思います。

(委員)
私は自動車の飲酒運転体験に参加したことがあります。実際にお酒を飲み酔った状態で運転をしました。気分が高揚したところもあるが、自転車の飲酒運転の啓発としてはいいと思います。

(委員長)
福岡での実績があることや、警察と連携をしていることを含めて、もう一度協議してイベントの実施方法を考えていけたらと思います。他にもご意見いただければ幸いです。

(事務局)
この場をお借りしてご意見をいただきたいことがあります。ヘルメット着用率調査について、年代ごとの着用率調査以外に、車種ごとの着用率や交差点の通行方向別調査なども行っています。
それ以外に調査してほしいことや、計測すべきものについてご意見いただけますと幸いです。

(委員長)
私の実感ですが、学生は学校が近づくとヘルメットを被るそうです。その為、学校までの距離によって着用率も変わってくる可能性があります。

特にご意見ないようです。

私のほうから、健康サイクリングの名前についてですが、健康を推進するためのイベントであるために健康サイクリングという名称でイベントを行ってきているところですが、今年度の取り組みでは健康推進ではなくサイクリングに親しみを持っていただくためのイベントかと思います。名称変更をしてはいかがでしょうか。

(事務局)
計画上は健康サイクリングとなっているため、そのように説明させていただきました。実際にイベントを開催する際は、健康サイクリングという名称は使用しないことにさせていただきます。

(委員)
イベントの参加者集めに苦慮していることかと思いますが、今後の改善策等あれば教えてください。

(事務局)
昨年度からサイクリング担当をさせていただいていますが、難しいと感じる点は参加者が増えすぎてしまうと、スタッフの人員が用意できなくなることです。また年齢層がバラバラになると走行速度に差があり、走行中に分かれてしまうなどのデメリットもあります。参加者が幅広くなりすぎないように、コンセプトやターゲットをはっきりさせて実施していきたいと考えています。
サイクリングだけではなく他の体験と兼ね合わせ、親子向けのイベントとすることで、参加者数の増加を目指していきたいです。

(委員)
ヘルメットの着用率調査を行った後は、何かに活用される予定でしょうか。

(事務局)
調査したデータをもとに、啓発や広報を行うターゲットを絞りたいと考えています。
実際のデータを活用することで、より重点的に啓発を行っていきたいです。

(委員)
データを活用した啓発の取組についても目標に入れたらいいと思います。

(事務局)
昨年度、調査できたのが1回のみでしたので、香南市のヘルメット着用率の傾向を把握できていませんでした。今年から調査を増やし、傾向が見えてくれば、策定委員会で相談させていただき、啓発する内容をフェーズ1.5 の計画の取組に追加していきたいと考えています。

(委員)
昨年度の啓発の実績に健康サイクリングなどのイベントでチラシの配布とありますが、着用率調査後に行ったものでしょうか。

(事務局)
ヘルメット着用率調査については、令和8年度よりフェーズ1.5の新たに定めた KPI の指数になりますので、令和7年度のフェーズ 1 での実績は、防災対策課のヘルメット購入補助金申請数がKPIの指数となっております。

(委員)
昨年度配ったチラシは防災対策課のヘルメット購入補助金のチラシという事ですね。

(委員長)
委員の皆様は、自転車の制度が変わったことについて、自転車利用者の変化などどう感じられていますか。

(委員)
4月から自転車の制度が変わったことに伴い、パトカーを見ると車道に出る自転車が増えた印象で

す。また、自転車の乗り方に関する問い合わせも増え、その都度お話をさせていただいているところです。ヘルメット着用につきましても啓発を行っているところではありますが、着用率はなかなか上がらず、悩みは市と同じかと思います。

(委員長)
制度が変わり、乗り方がわからない人も増えてきていると思います。
イベントを通じて啓発できたらいいですね。

(委員)
高校生は自転車のステッカーをもらうとき、ヘルメットを持っていないとステッカーをもらえないことになっているそうです。被るか被らないかは生徒次第ですが、学校も指導に力を入れているかと思います。
一般の方には、ヘルメットの補助金をそもそも知らなかったり、申請の仕方が難しかったりすると思います。特に、高齢者の方はヘルメットがあれば被ってくれるかと思うが、買うハードルが高いかなと思います。
対象者を絞ってイベントをするのはいいことかと思います。ターゲット層が30～40代ということなので、福利厚生の一環でサイクルイベントの開催に興味のある企業もあると思いますので、企業に従業員向けにイベントをやらないかと声かけてみたりしたらいいのではないでしょうか。
(事務局)
おっしゃる通り、一般の方や高齢者にとっては、買う場所や選び方が難しいかと思います。現在の申請者のデータから、制度の見直しについて防災対策課と協議できればと思います。
会社に対してというのは、目からうろこでした。サイクルサポーターへのアンケート結果でも、企業でもイベントしたいと思ってくださっているところはありますので、お声がけしていきたいと思います。また、市が主催ではなく、市民が主体でイベントが開催されるような仕組みにしていけたらと思います。

(事務局：山﨑)
ヘルメット着用率の伸びについて、補助金使ってまで買うのかという点は市民のお考えかと思います。被ったほうが安全ということをしっかり周知して、補助金があることを広報できればと思います。

(委員長)
病院などの高齢者が多いところでの周知も必要かと思います。

(委員)
学生が自転車の乗り方、通行に迷っているように感じます。一例で言うと、歩道と車道が一緒になっているところで、どちら向きに通ってもいいのか、迷っているようです。
それと、自転車歩行者道が切れた部分があり、反対側には自転車歩行者道がある場合、いちいち渡らないといけないのでしょうか。
もう一点、車を運転している側からすると、自転車を追い越す場合の1mをとって追い越さないといけないと思いますが追い越し禁止車線(黄色線)についてはどうすればよいでしょうか？

(委員)
県内の主要道路では自転車歩行者道はほぼ整っています。車道は左端原則だが、歩道はどちら側をどちら向きに通行しても問題ありません。自転車歩行者道が切れた部分は車道になり左側通行になるので、左側を通るために渡ってください。
追い越しについては、安全な間隔を取るか、安全な速度を確保しながら追い越ししていただければと思う。1m～1m50㎝あければ、寄ってきても安全です。追い越し禁止車線の場合は、間隔がとれないので、安全な速度で追い越ししていただきたいです。自転車を脅かさない速度差でゆっくり追い越すか、そもそも追い越さないか、ということになります。
警察は悪質・危険な違反を想定して取り締まりを行っていますので、ご理解いただけますと幸いです。

(委員長)
香宗川については、そのような道路がありますね。

自転車を乗っているほうからすると、ゆっくり追い抜いていただけると、比較的近い距離で追い越しされても大丈夫かと思います。

他にご意見はございませんでしょうか。
特にないようでしたら、以上にさせていただきたいと思います。
その他について、事務局からよろしくお願いします。

(事務局)
資料3につきましては令和8年度のスケジュールになります。本日ご説明させていただきましたサイクリングイベントの開催月なども記載しておりますのでご確認いただければと思います。

(委員長)
本日は令和7年度及び今年度、今後の取り組みについて事務局から説明をいただきました。今年度からフェーズ 1.5 ということで進めさせていただきたいと思います。
国の計画も更新され、マウンテンバイクの取り組み、防災に自転車を活用していくというものも加えられていますので、香南市でも取り入れていく必要があるかなと思います。みなさん自転車を使ってご自身の活動の幅を広げていけたらと思います。

(事務局)
本日の議題につきましては、以上となります。お忙しい中、委員長を始め、委員の皆様には、長時間に渡り熱心なご議論をいただきありがとうございました。本日いただきましたご意見につきましては、関係機関等に情報の共有をして、今後の取り組みに活かしていきます。
改めて、本日はありがとうございました。